



2. 予期せぬ妊娠に対する支援に関する研修

【目 的】

予期せぬ妊娠は、母体や胎児の健康や安全が確保されにくいだけでなく、その後の子育てに困難を生じることがある。また、対象者の抱える問題は複雑多岐にわたるため、関係機関の連携による支援が求められている。

本研修は、予期せぬ妊娠に対する支援に関する最新の知見や動向、関係機関が連携して支援する必要性を理解し活用できるようになること、女性健康支援センター事業における支援の充実や関係機関との連携促進に活かすことを目的とする。

【目 標】

- ・ 予期せぬ妊娠に対する支援に関する最新の知見や動向、関係機関の連携の必要性について理解を深める。
- ・ 女性健康支援センター事業等について、他自治体等における取組状況を学び、自らの地域における取組に活用する。

【対 象】

自治体母子保健担当者、女性健康支援センター事業の実施施設および関係するNPO法人職員等

【視聴期間】

2020年10月1日（木）～10月31日（土）

【プログラム】

時間 (予定)	内 容	講 師
30分	行政説明 「母子保健行政の動向」	厚生労働省子ども家庭局母子保健課
60分	講義Ⅰ 「産婦人科の臨床から見えてくる 予期せぬ妊娠の背景と支援」	東京女子医科大学産婦人科学 准教授 水主川 純
45分	講義Ⅱ 「ドイツ語圏の予期せぬ妊娠への 対応から学ぶ」	千葉経済大学短期大学部こども学科 教授 柏木 恭典
45分	講義Ⅲ 「妊娠SOSを自治体と連携して キャッチし支援へ」	NPO法人 MCサポートセンターみっくみえ 代表 松岡 典子
60分	予期せぬ妊娠に対する支援を行っている自治体および自治体事業委託機関による事例発表 横須賀市こども家庭支援センター 副所長 小林 幸恵 特定非営利活動法人ピッコラーレ 代表理事 中島 かおり	

合計時間 4時間

敬称略